

「旭川市公園施設長寿命化計画」について

令和3年度 緑の審議会資料（第1回）
2021年（令和3年）8月25日(水)

公園施設長寿命化計画について

■ 公園施設長寿命化計画とは・・・

目的：古くなった公園の施設を修繕・更新していくための年次計画

➡ 計画期間 **10年**を目安

昨年度まで・・・

＜第1次＞公園施設長寿命化計画（計画期間：平成23年度～令和2年度）

今年度から・・・

＜第2次＞公園施設長寿命化計画（計画期間：令和3年度～令和12年度）

➡ 「**身近にある公園**」と「**規模が大きい公園**」の**2部構成**の計画を検討

○計画を立てる理由

- ・市が所有する膨大な公園施設の長期的な業務量の把握や必要となる予算額の想定が可能
→ 予防保全型管理 or 事後保全型管理の設定による**維持管理コストの縮減**
- ・ **国の交付金**を活用する上で、**公園施設長寿命化計画に基づき適切に維持管理された施設**であることが**交付要件**となっている。

公園施設長寿命化計画について

■ 前計画の実績【第1次計画(平成23年度～令和2年度)】

大型遊具



一般遊具

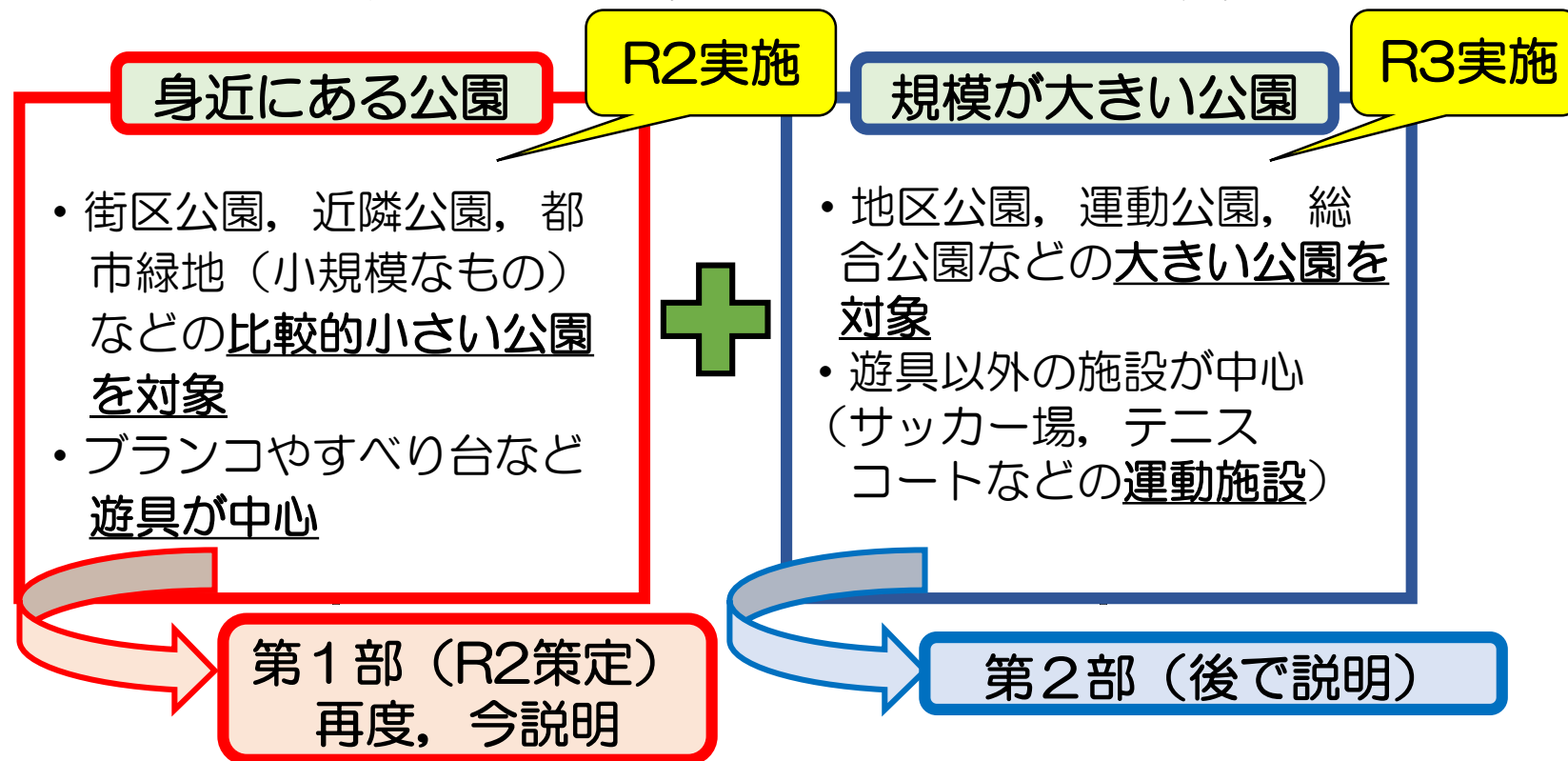


公園施設長寿命化計画について

■ 新計画について【第2次計画(R3～R12)】

第2次 旭川市公園施設長寿命化計画の構成

- 「**身近にある公園**」と「**規模が大きい公園**」の2部構成で計画策定
→ 公園の役割に応じて、求められるニーズが異なるため



第1部 身近な公園（R2実施）

第1部 身近な公園

■ 老朽化が進む公園施設(1)

○現在の旭川市の公園が置かれている現状

・社会構造の変化

→人口減少や、少子化により公園利用者が減少している。

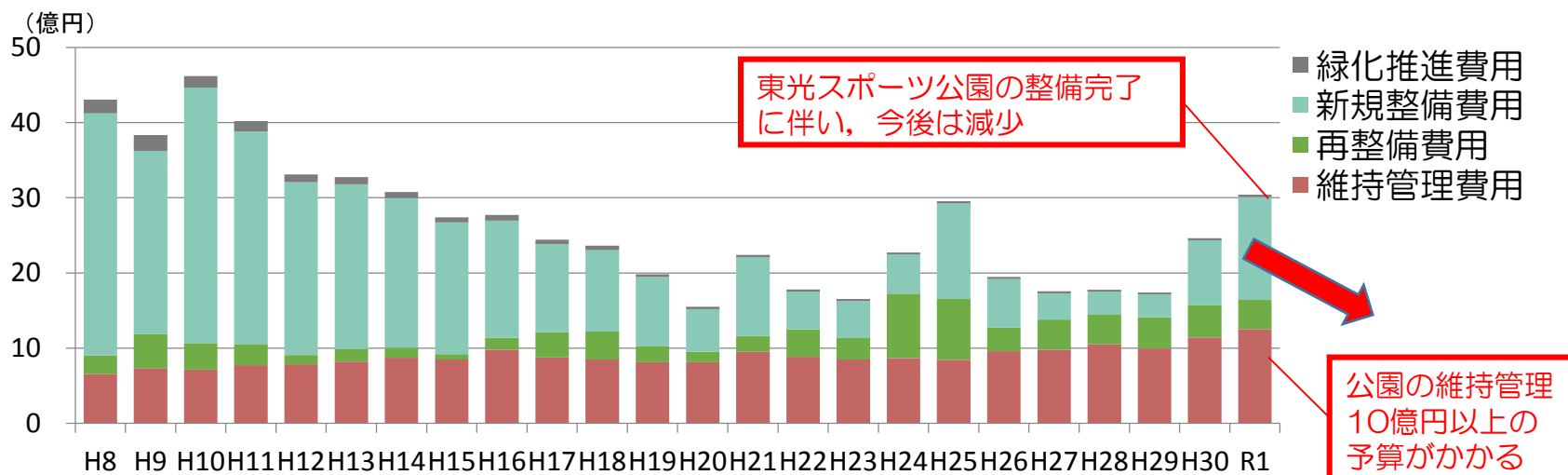
・限られた予算

→公園予算は年々減少傾向

→R2はH29予算と同水準となった。

→近年の遊具更新の実績では、年間50基程度（全体約1,800基）

＜市の公園予算の推移＞



第1部 身近な公園

■ 老朽化が進む公園施設(2)

○現在の旭川市の公園が置かれている現状

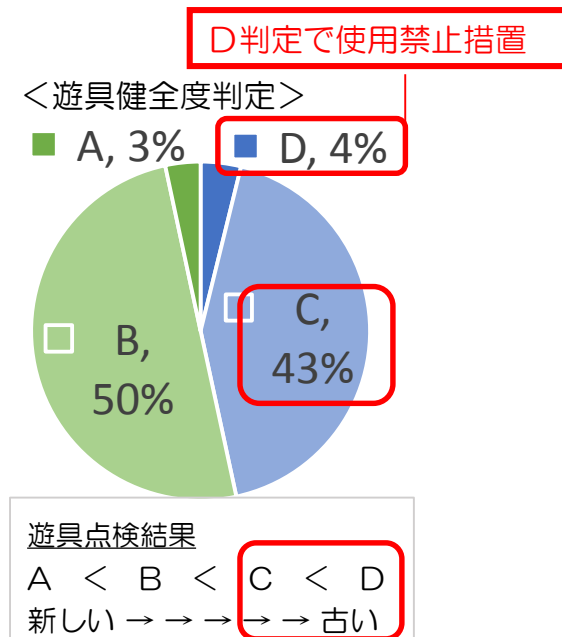
・老朽化する施設

市内の都市公園にある遊具約1,800基のうち、

CとD判定が約半数

→部品交換や修繕をしながら、使用期間の延命を行っている状態であり、古い施設ほど修繕頻度が上がり、維持管理に費用がかかっている。

→遊具の使用見込み期間は、木製複合遊具で14年、鋼製複合遊具で27年と短く、使用環境や利用状況で更に短くなる場合もある。
更新を行っても、10～20年の間にすぐ更新時期を迎える。



☆都市公園内の遊具は約半数が劣化している。
→予算規模を超える遊具の更新できない。

第1部 身近な公園

■ 老朽化が進む公園施設(3)

○老朽化が進行しているが、対応できていない公園施設

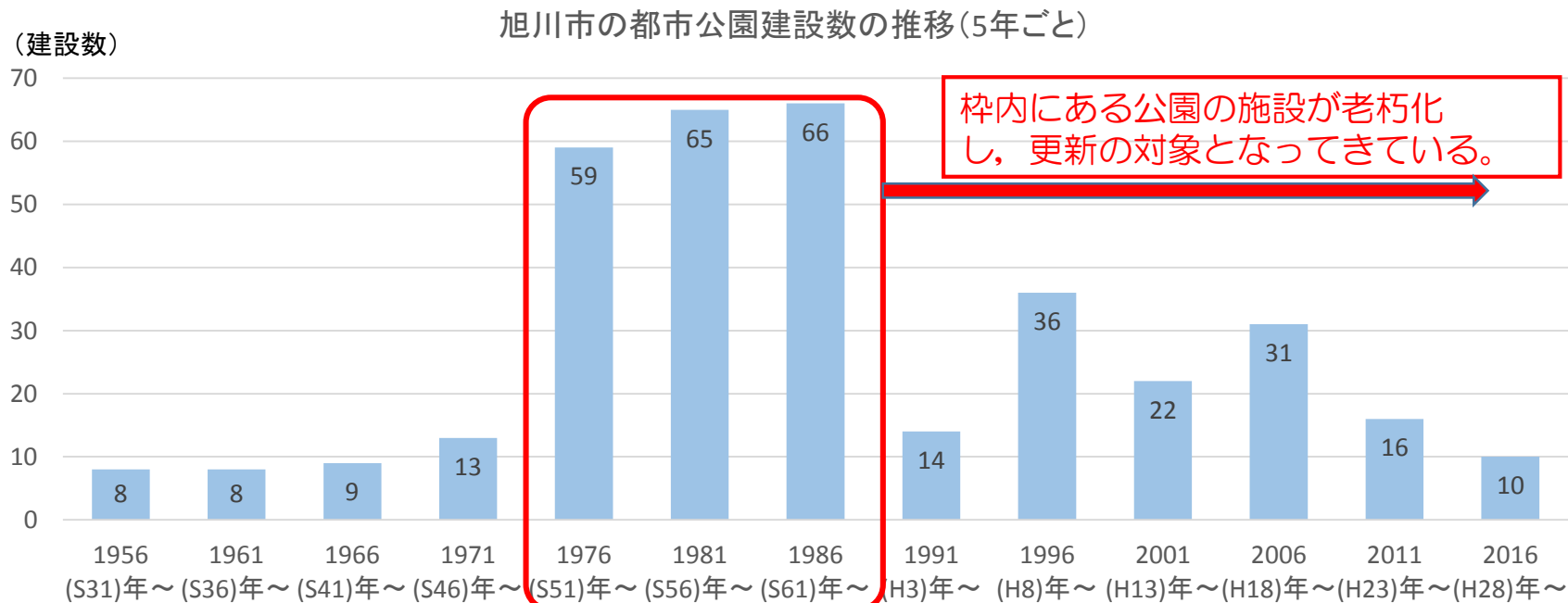


■ 旭川市の公園建設数と推移

- 旭川市では、1956（昭和31）年にはじめて公園が建設され、1970～1980年代には公園数が急増した。ピークは1979（昭和54）年の29か所である。
- 1995（平成7）年以降は、減少傾向にある。

年代ごとの時代背景等

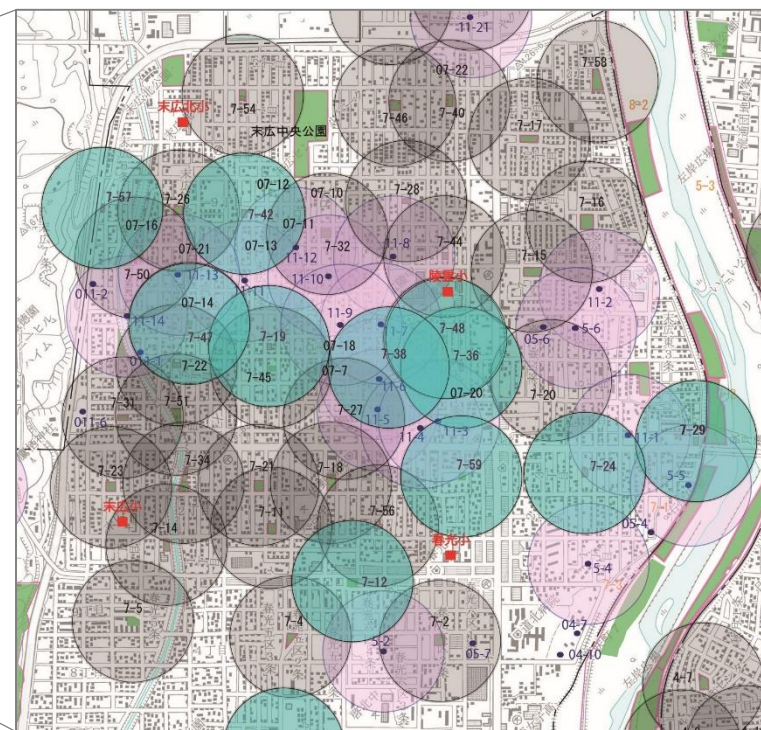
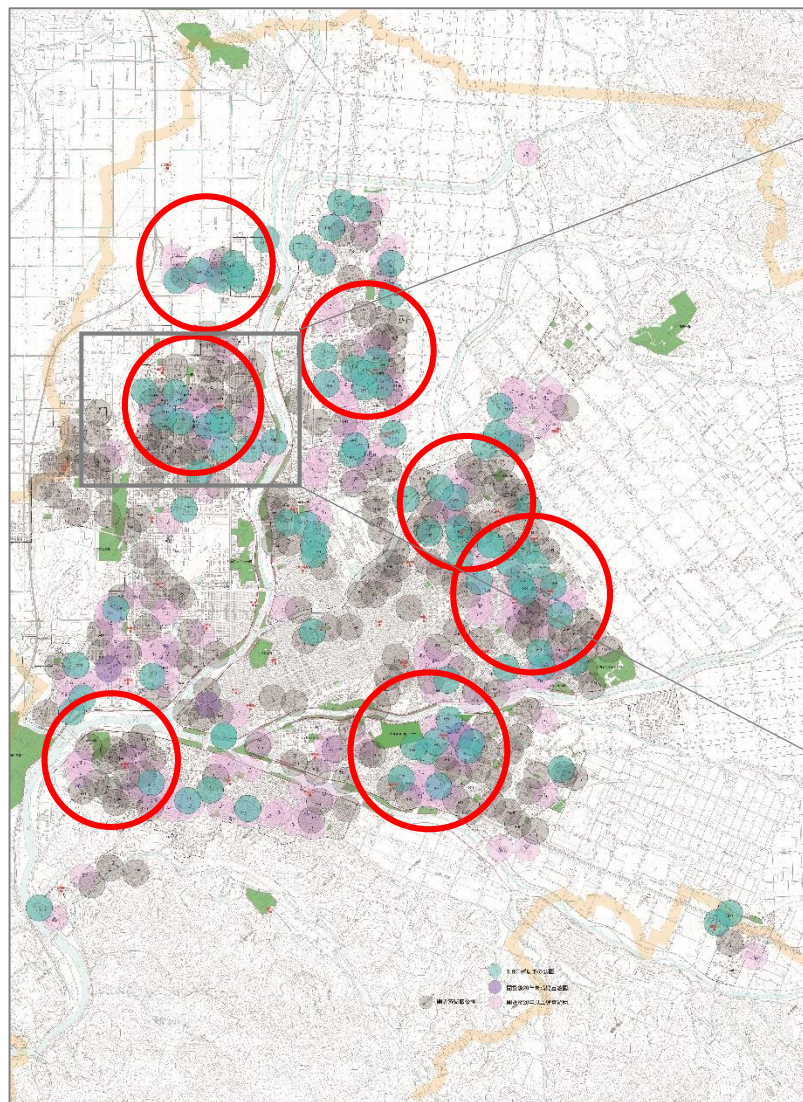
- 市街化区域は、内環状道路の外側を中心として昭和51～55（1976～1980）年頃に急激に拡大しましたが、人口のピークを迎えた平成7年以降は拡大範囲も少なく、近年10年間では新たな市街地の拡大は行われていません。（立地適正化計画より）



第1部 身近な公園

■ 身近な公園の密集エリア

○街区公園や児童遊園などの身近な公園の密集エリアが存在する。



- 1,000㎡以下の街区公園
- 開設済街区公園
- 開設後20年未満児童遊園
- 開設後20年以上児童遊園

■ 市民アンケート調査(1)

○市民等アンケート調査の実施概要

- ・ 期 間：令和2年10月14日～令和2年11月15日（町内会11月30日）
- ・ 実施対象：市民，小学校（教諭），幼稚園・保育園（幼稚園教諭・保育士），町内会
- ・ 実施方法：ウェブアンケート，アンケート用紙（町内会）
- ・ 回 収：

市民：1,123通	
小学校：52/53通	回収率：98.1%
保育園・幼稚園：64/124通	回収率：51.6%
町内会：360/468通	回収率：76.9%

第1部 身近な公園

■ 市民アンケート調査(2)

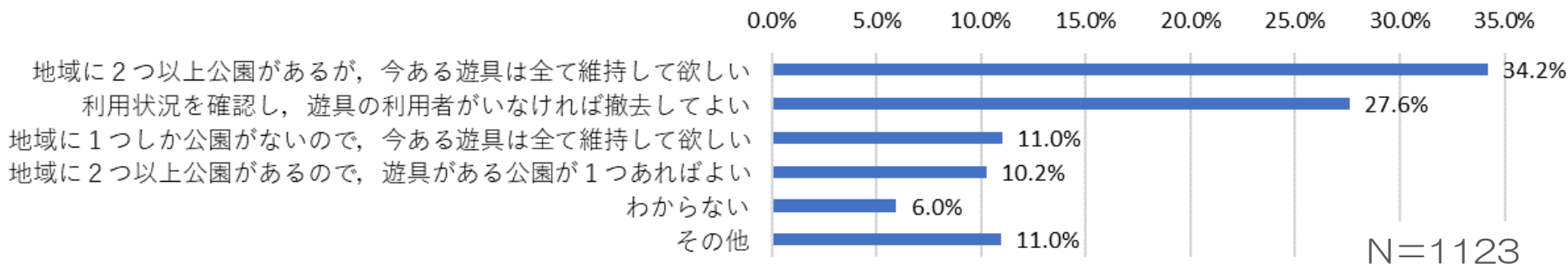
○次期長寿命化計画に関連するアンケート調査結果の要点

- 身近な公園は子どもの遊び場としての利用がメイン。
- 既存施設の存続を求める意見が多い。
- 身近な公園の満足度は、「家から近くにある」ことにより比較的高い傾向にある。

○次期長寿命化計画に関連するアンケート調査結果 内容

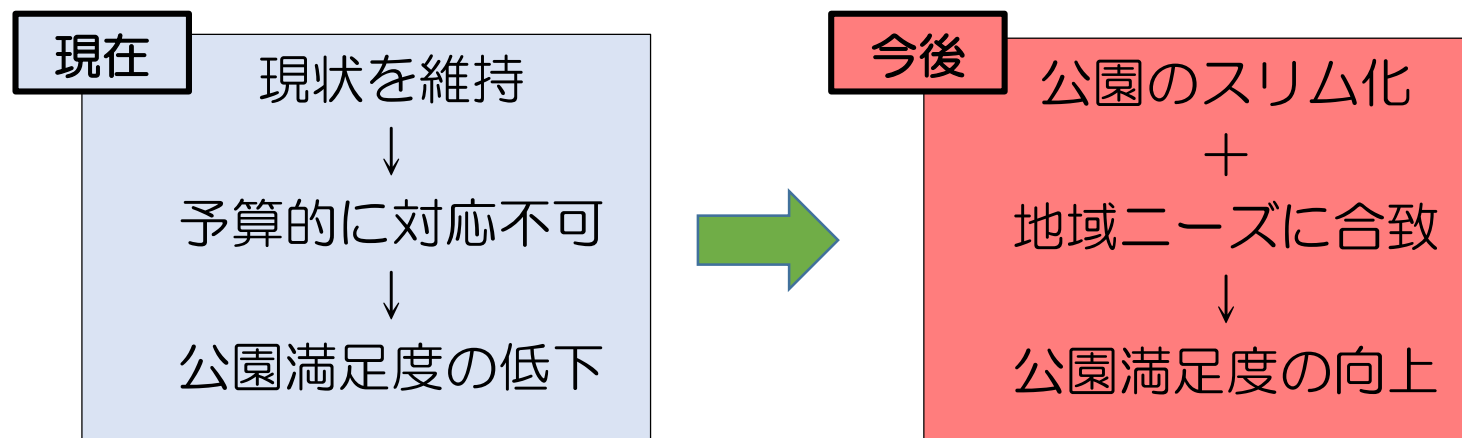
【市民アンケート：公園維持管理の考え方〔単数回答〕】

- 「地域に2つ以上公園があるが、今ある遊具は全て維持して欲しい」という意見が約34%で最も多く、次いで「利用状況を確認し、遊具の利用者が居なければ撤去して良い」が約28%となっている。
- 同様に、小学校や幼稚園・保育園、町内会アンケートでも、今ある施設の存続を求める声が1番多い結果となっている。



■ 市民アンケート調査(3)

○アンケート調査結果を通して見えてきた課題



- ・今までは、公園数や施設数など**数的優位**によって満足度を得ていた。
- ・今後は、**質の向上**により満足度の向上を目指していく。
→新たな方針にシフトしていくためには、地域住民の理解が必要

☆今後の公園行政には、地域住民の理解が必要

第1部 身近な公園

■ 遊具の整備方針 ～旧計画～

○前計画は、市内全ての遊具を更新対象としている

→劣化した遊具から優先的に更新する計画となっており、計画期間10年を通して、進捗率2割程度。

→基本的に、今ある遊具と同じものを同じ位置に更新。

〈例〉

すべり台→すべり台 / ブランコ→ブランコ

before



after



☆今までの公園整備は、単純更新（点的な整備）

第1部 身近な公園

■ 遊具の整備方針 ～新計画～

○国の交付金を活用した整備の限界

→2ha以下の公園は、遊具のみ交付対象

○公園の維持管理は委託

→指定管理者（公園緑地協会や公園管理センターなど）に委託をしている。

→指定管理者は、施設の劣化状況をみながら独自に補修を行っている。

○市の「公園整備」と指定管理者の「維持管理」の組み合わせによる効果

→これらを組み合わせることで、**点的ではなく面的な公園整備が可能に。**

〈面的な整備の実施例〉

別紙，A3資料参照

☆これからの公園整備は、複合的更新（面的な整備）

第2部 規模が大きな公園（R3実施予定）

第2部 規模が大きな公園

■ 花咲スポーツ公園の紹介

○花咲スポーツ公園の概要

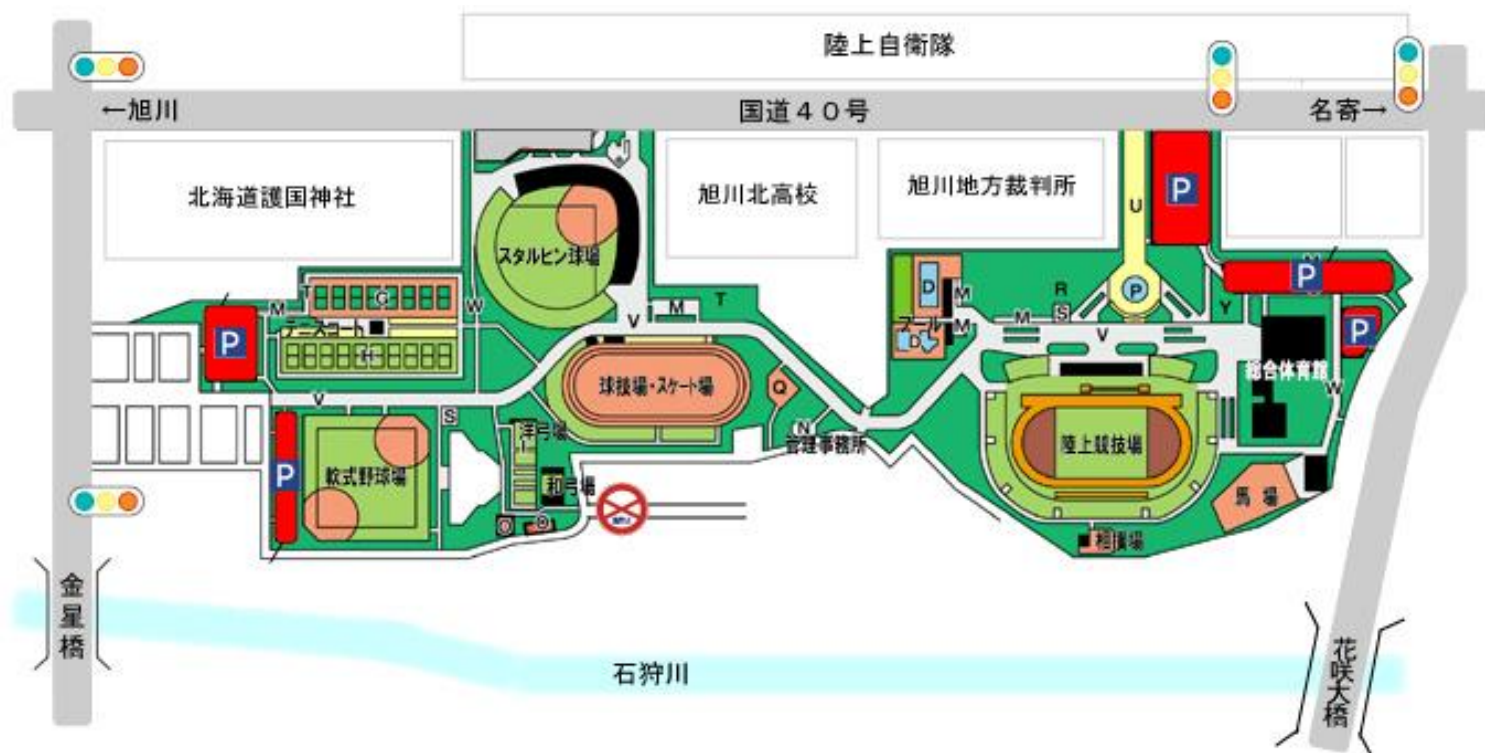
- ・公園名:花咲スポーツ公園 ・住所:旭川市花咲町1～5丁目 ・公園種別:運動公園 ・公園面積:30.58ha
- ・告示年月日:昭和31年10月15日(区域変更:平成3年3月30日)

○本公園は、昭和4年に札幌税務監督所より一部用地買収し、さらに昭和11年には大蔵省より一部用地買収して野球場、陸上競技場、プール等を整備した後、昭和16年3月6日**近文公園**として開設した。その後、昭和39年に河川敷地の一部を編入し、さらに昭和51年に競馬場跡地の買収により現用地となり、平成3年4月1日に**本公園名称に変更**したものである。



第2部 規模が大きな公園

■ 花咲スポーツ公園の紹介



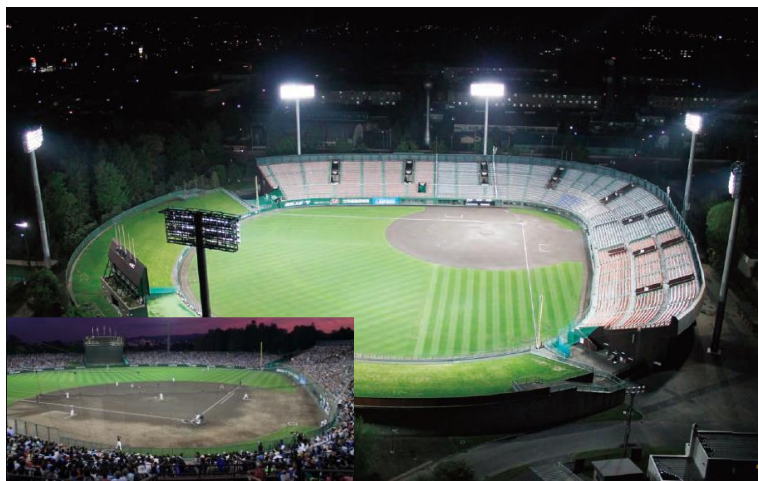
○花咲スポーツ公園の主要な施設一覧

スタルピン球場 (硬式野球場)	球技場(サッカー場) (冬期スケート場)	テニスコート (硬式8面, 軟式10面)	相撲場
陸上競技場 (日本陸連2種公認)	馬場	プール (25m, 50m, 幼児用)	冬期施設 (ちびっこスキー場ほか)
旭川市総合体育館 (市スポーツ課所管)	軟式野球場(2面)	和弓場(誠心館)	屋外トイレ, 管理事務所, 駐車場 など

第2部 規模が大きな公園

■ 花咲スポーツ公園の紹介

○花咲スポーツ公園内の主要な運動施設(1)



スタルヒン球場（硬式野球場）



陸上競技場（日本陸連2種公認）



球技場（サッカー場）

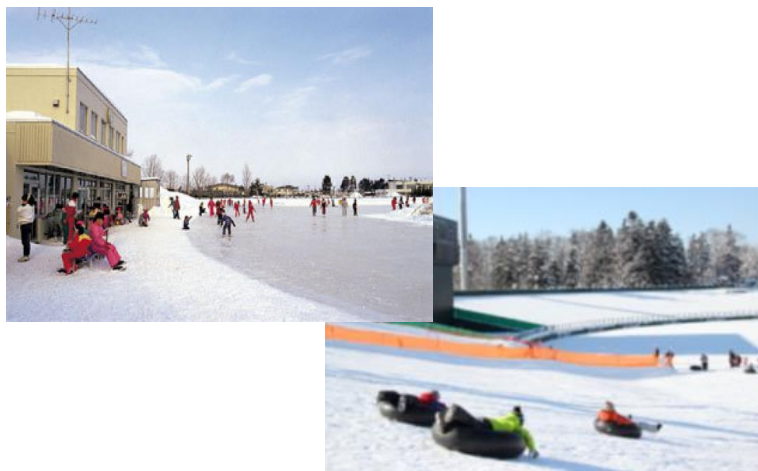


テニスコート（軟式・硬式）

第2部 規模が大きな公園

■ 花咲スポーツ公園の紹介

○花咲スポーツ公園内の主要な運動施設(2)



冬期施設（花咲スケート場・ちびっこスキー場）



和弓場（射場）



花咲プール



軟式野球場

第2部 規模が大きな公園

■ 花咲スポーツ公園の紹介

○花咲スポーツ公園 運動施設の利用状況

- ・花咲スポーツ公園は、気軽にスポーツを楽しめる場として多くの市民に利用されている。(下表参照)
- ・特に、スタルヒン球場においては、**高校野球の北北海道大会**や、**プロ野球の公式戦**など大規模かつ注目度が高い試合が行われている。
- ・他の運動施設においても、陸上競技場で高校サッカーのインターハイ、テニスコートでは、軟式テニスの中体連全国大会が予定されているなど、**全国規模の大会**も行われており、**高い水準で施設を維持管理していく必要がある。**

主要施設名	使用承認件数	利用人数
スタルヒン球場(硬式野球場)	80件	95,033人
陸上競技場(日本陸連2種公認)	22,913件	54,781人
球技場(サッカー場)	118件	12,086人
軟式野球場(2面)	329件	17,869人
テニスコート(硬式8面)	8,316件	58,898人
テニスコート(軟式10面)	9,244件	82,503人
プール (25m, 50m, 幼児用)	4,181件	4,181人 (開設時期は、7/1～8/31)
和弓場(誠心館)	10,874件	15,470人

※使用承認件数及び利用人数は、新型コロナウイルスによる施設利用人数への影響を考慮し、令和元年度のデータを使用している。

第2部 規模が大きな公園

■ 花咲スポーツ公園における課題

○花咲スポーツ公園の運動施設における問題点

課題① 施設の老朽化

- ・多くの運動施設が建設から30年以上経過→老朽化した施設が年々増加
- ・どの施設がどの程度老朽化しており、いくらかかるか把握できていない。
- ・現段階でも、多くの更新費用がかかることが判明している施設もある。

課題② 施設の特殊性

- ・各種競技の専用となる施設が多く、高い整備水準が求められている。
- ・各スポーツ団体の施設に対する要望が多い。
- ・予算が不足しており、要望に対応できていない。

課題③ 施設の維持管理費

- ・公園面積が広く、運営やメンテナンスに費用がかかる施設が数多くある。
- ・現状は、施設を維持するだけでも精一杯→計画的な改修を行えていない。
- ・市内には、他の公園に多くの運動施設がある。

第2部 規模が大きな公園

■ 花咲スポーツ公園における課題

○花咲スポーツ公園の運動施設における問題点

課題① 施設の老朽化

- ・多くの運動施設が建設から30年以上経過→老朽化した施設が年々増加
- ・どの施設がどの程度老朽化しており、いくらかかるか把握できていない。
- ・現段階でも、多くの更新費用がかかることが判明している施設もある。

課題② 施設の特殊性

- ・各種競技の専用となる施設が多く、高い整備水準が求められている。
- ・各スポーツ団体の施設に対する要望が多い。
- ・予算が不足しており、要望に対応できていない。

課題③ 施設の維持管理費

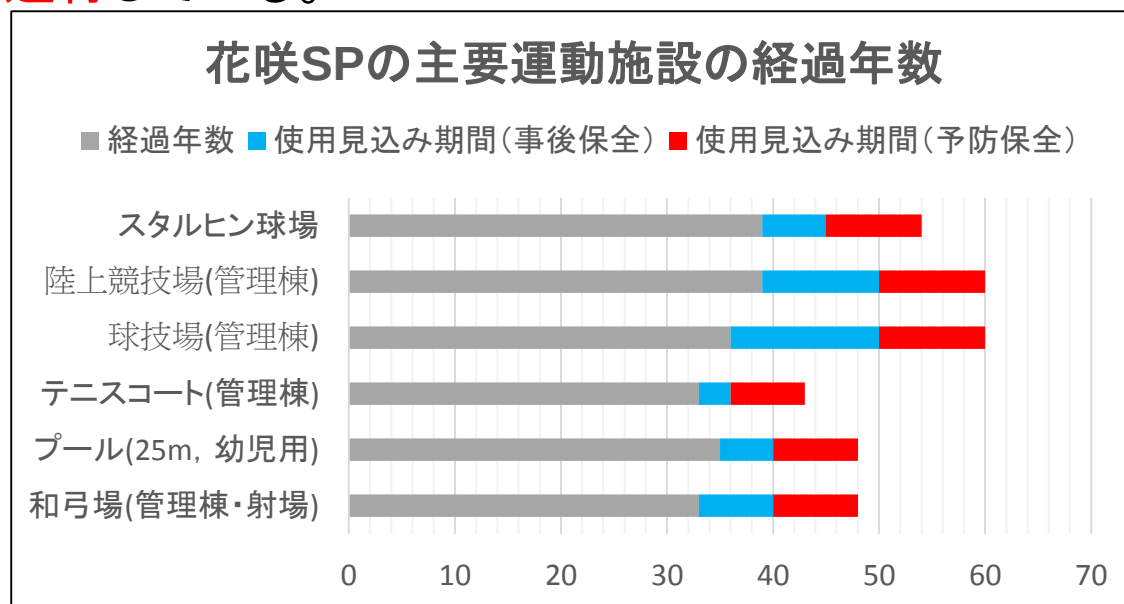
- ・公園面積が広く、運営やメンテナンスに費用がかかる施設が数多くある。
- ・現状は、施設を維持するだけでも精一杯→計画的な改修を行えていない。
- ・市内には、他の公園に多くの運動施設がある。

第2部 規模が大きな公園

■ 課題① 施設の老朽化

○施設の老朽化

- ・花咲スポーツ公園の運動施設は、設置から30年以上経過しており、施設の老朽化が進行している。



→ 今までの管理方法(事後保全)では、残された使用見込み期間は少ない。

計画的に補修や修繕を行い、施設の延命化を図ることが重要(予防保全)

事後保全: 施設の日常的な維持管理や点検を行い、施設の機能が果たせなくなった段階で取り替えるよう管理する方法

予防保全: 施設の劣化や損傷の進行を未然に防止し長持ちさせることを目的に、計画的な手入れを行うよう管理する方法

第2部 規模が大きな公園

■ 課題① 施設の老朽化

◆老朽化が進行している運動施設例（１）【スタルヒン球場】



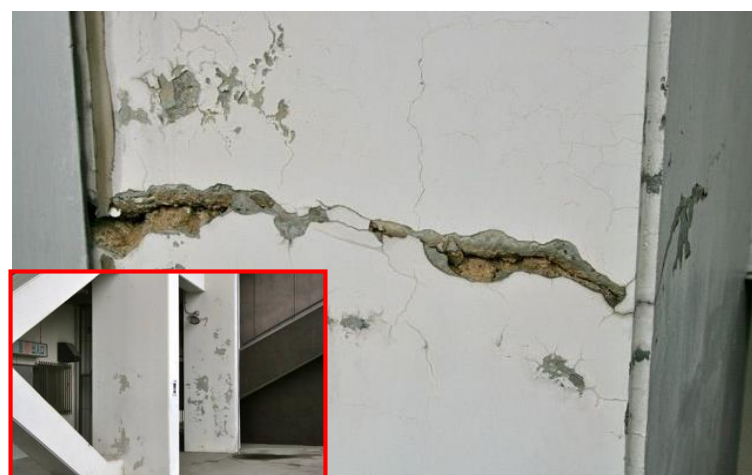
床・階段・壁全ての躯体劣化



観客席手摺りの発錆



放送席窓上部のコンクリートの剥離



柱部のひび割れ・鉄筋露出

第2部 規模が大きな公園

■ 課題① 施設の老朽化

◆老朽化が進行している運動施設例(2)【陸上競技場】



管理棟全景・外壁の発錆及びクラック



スタンド防水劣化による器具室への漏水・白華



スタンド防水劣化・手摺下の躯体の劣化（クラック）



スタンド擁壁部と外柵劣化による貫通孔

第2部 規模が大きな公園

■ 課題① 施設の老朽化

◆老朽化が進行している運動施設例(3)【プール, 和弓場】



プール槽の塗装劣化 (25m・幼児用)



和弓場 渡廊下の仮設外壁による雨漏り



プール床材の剥離・欠損



和弓場 射場床材の劣化

第2部 規模が大きな公園

■ 課題① 施設の老朽化

◆現段階で想定される今後必要となる施設改修の一例

○スタルヒン球場

- ・スコアボードの改修
- ・ナイター照明のLED化(ランプの生産中止に伴う)

○陸上競技場

- ・2種公認継続のためのトラック改修
→トラック改修は, 10年毎に行っており工事費約3億円
(公認検定は, 5年に一度あり, 部分的な改修が都度必要。数千万)
- ・スタンド防水工事(スタンドから建物内への漏水)

○テニスコート

- ・軟式, 硬式コートの人工芝張替

&more

☆現段階で, 数億円規模になる工事が多数想定されている。

→施設の老朽化で今後さらに増える見込み。

第2部 規模が大きな公園

■ 花咲スポーツ公園における課題

○花咲スポーツ公園の運動施設における問題点

課題① 施設の老朽化

- ・多くの運動施設が建設から30年以上経過→老朽化した施設が年々増加
- ・どの施設がどの程度老朽化しており、いくらかかるか把握できていない。
- ・現段階でも、多くの更新費用がかかることが判明している施設もある。

課題② 施設の特殊性

- ・各種競技の専用となる施設が多く、**高い整備水準**が求められている。
- ・各スポーツ団体の**施設に対する要望**が多い。
- ・予算が不足しており、要望に対応できていない。

課題③ 施設の維持管理費

- ・公園面積が広く、運営やメンテナンスに費用がかかる施設が数多くある。
- ・現状は、施設を維持するだけでも精一杯→計画的な改修を行えていない。
- ・市内には、他の公園に多くの運動施設がある。

第2部 規模が大きな公園

■ 課題② 施設の特殊性

◆各運動施設の特殊性

○スタルヒン球場

- ・昭和7年に完成した旭川市営野球場を前身とした歴史ある施設
- ・高校野球の**北北海道大会**や**プロ野球公式戦**の開催
 - 北海道日本ハムファイターズの準本拠地
 - プロ野球一軍公式戦開催球場
 - 「北の聖地」**と言われ、北海道の球児達の憧れの場

○陸上競技場

- ・**道北唯一の日本陸連公認2種競技場**
 - 1種:厚別(札幌) 2種:円山(札幌), 函館, 帯広, 釧路, 室蘭
- ・全道規模の各種陸上競技の大会が開催されている。

☆高いレベルでの各種大会や競技が行われているため、それに見合った水準での整備が必要となっている。

→高いレベルでの競技や練習をするため、各スポーツ団体から運動施設に対する多くの改修要望を受けている。

第2部 規模が大きな公園

■ 花咲スポーツ公園における課題

○花咲スポーツ公園の運動施設における問題点

課題① 施設の老朽化

- ・多くの運動施設が建設から30年以上経過→老朽化した施設が年々増加
- ・どの施設がどの程度老朽化しており、いくらかかるか把握できていない。
- ・現段階でも、多くの更新費用がかかることが判明している施設もある。

課題② 施設の特殊性

- ・各種競技の専用となる施設が多く、高い整備水準が求められている。
- ・各スポーツ団体の施設に対する要望が多い。
- ・予算が不足しており、要望に対応できていない。

課題③ 施設の維持管理費

- ・公園面積が広く、運営やメンテナンスに費用がかかる施設が数多くある。
- ・現状は、施設を維持するだけでも精一杯→**計画的な改修を行えていない。**
- ・市内には、他の公園に多くの運動施設がある。

第2部 規模が大きな公園

■ 課題③ 施設の維持管理費

○施設の維持管理費(1)

・施設を維持するために多くの改修，メンテナンス費用がかかっている。

→補修計画が無く，事後的な対応を行ってきた経緯がある。

(例)近年のスタルヒン球場の主な改修(H21~R1における10年間)

年 度	工 事 内 容
平成21年度	・関係者用・選手用・バックスクリーン・外野席用のトイレ改修，ブルペン内整備
平成22年度	・スコアボード表示板改修，給水設備改修，深井戸ポンプさく井設備工事
平成23年度	・外野スタンド芝及び暗渠改修，ナイター照明関連工事，ナイター照明設計業務
平成24年度	・内野部緩衝フェンス取替え，温水器取替工事，ナイター照明設置
平成25年度	・内野スタンド手摺設置，ナイター照明設置，冷房設備整備
平成26年度	・監視カメラ設置，外壁塗装改修
平成27年度	・ブルペン照明改修工事
平成29年度	・エレベーター設置，球場内通路バリアフリー化，ダックアウトベンチ交換
平成30年度	・内野スタンド防水工事，外周トラフ改修，トイレ改修
令和元年度	・内野スタンド防水工事及びダックアウトマット張替，グラウンド土入替え，外周トラフ

→10年間で約16.5億円の費用がかかっている。

第2部 規模が大きな公園

■ 課題③ 施設の維持管理費

○施設の維持管理費(2)

- ・市内の都市公園は指定管理者による維持管理を行っている。
→花咲スポーツ公園も指定管理者制度を導入しており、旭川市公園緑地協会が各運動施設の管理・運営を行っている。
- ・指定管理費
花咲スポーツ公園を含む公園の指定管理費は、**年間約5.5億円**
(常磐公園, 神楽岡公園等の4総合公園, 東光SP・花咲SP等の運動公園5運動公園, カムイの杜公園1都市緑地→計10公園の指定管理費)
- ・施設運営にかかる費用としては、人件費, 作業機械等の燃料費, 光熱費, 小規模修繕費など

☆施設を管理・運営するだけでも、多くの費用がかかっている。

第2部 規模が大きな公園

■ 課題③ 施設の維持管理費

○施設の維持管理費(3)

- ・花咲スポーツ公園以外の公園にも、多くの運動施設がある。
 - 野球場，球技場，テニスコート，パークゴルフ場など**約130施設**
 - 花咲SP同様に施設の**老朽化**が進んでいると想定。
- ・当時の流行で建設したゲートボール場など現在の利用実態が不明な施設が数多くある。
 - 既存の施設にも維持費がかかっているので，運動施設に関連する各種団体の意見や現地調査などを行い**利用実態などを把握する**必要性。

☆市内の公園には運動施設が多くあり，その運動施設の中には利用実態が不明な施設もある。

第2部 規模が大きな公園

■ 課題の解決に向けて・・・

○課題を踏まえた上で、今年度行う長寿命化計画の方針

課題①「施設の老朽化」の対策

- ・花咲スポーツ公園の運動施設を中心に、**老朽度調査**を行う。
→老朽度調査を行うことで、どの施設がどの程度老朽化し、更新及び補修にかかる費用を把握する

課題② 施設の特殊性の対策

- ・限られた予算の中、老朽化の進行具合などを踏まえ、更新や補修を行う**優先度を検討**し、工事を行う施設を明確にする。
- ・特に交付金で対応可能な更新や補修については、規模、内容、事業費を把握し、長寿命化計画期間内において予算を平準化する。

課題③「施設の維持管理費」の対策

- ・花咲スポーツ公園以外の公園にある運動施設(野球場、テニスコート、サッカー場など)について、各種スポーツ団体のニーズ調査や施設の利用状況を把握し、**公園内にある運動施設の実態を把握**する。

ご静聴ありがとうございました